

JCOAL Magazine

JCOAL Magazine 第 241 号 令和元年 8 月 28 日

★目次★

JCOAL 活動報告

- ◆徳島県阿南市へ出前授業 「夏休み石炭実験教室」
- ◆「エネルギー環境教育学会」高知で全国大会開催__JCOAL 参加
- ◆第 1 回炭素資源セミナー 活動報告

国際ニュース

- ◆豪州：AUSTRALIA' s MINIG MONTHLY における 5 大トピック
- ◆英国：同国初の CCU および炭酸ナトリウム製造のデモプラント建設を Tata Chemical 社が計画
- ◆ベトナム：Van Phong 1 石炭火力発電所の建設工事開始

国内ニュース

- ◆我が国における「SDGs グローバル指標」を総務省が公表

炭鉱／博物館／世界遺産めぐり

- ◆コラム 世界の石炭博物館巡り 46 九州編 4（北九州前編）

その他レポート／教育等

- ◆JCOAL 業務紹介（技術開発部__「石炭の自然発熱性評価技術の開発」）
- ◆夕張から石炭カステラをご紹介（夕張石炭博物館再開に石炭スイーツ新商品）
- ◆ミュージカル『ビリー・エリオット』2020 年夏に日本再演が決定
- ◆教えて！にゃんコール教授！（番外編）「石炭って燃えるの？」
- ◆新コーナー！ にゃんコール教授が石炭グルメをご紹介！

お知らせ

- ◆2019 年度／第 28 回クリーン・コール・デー国際会議開催のお知らせ
- ◆『石炭データブック COAL Data Book（2018 年版）』好評発売中
- ◆『石炭の開発と利用』好評発売中
- ◆『JCOAL コールバンク』の無料閲覧のお知らせ
- ◆JCOAL 会員募集
- ◆石炭価格動向チャートを更新
- ◆国内セミナー／会議 および 国際セミナー／会議 情報を更新
- ◆編集後記



JCOAL 活動報告

■徳島県阿南市へ出前授業「夏休み石炭実験教室」

日時：7 月 15 日（月）海の日

場所：J-POWER&よんでん Wa ンダーランド

J-POWER と四国電力の共同立地である PR 施設『J-POWER&よんでん Wa ンダーランド』から、2016 年に実施した J-POWER 高砂発電所での実験教室と同様の催しを Wa ンダーランドで開催するにあたり、JCOAL に講師の派遣要請をしていただき、現地に赴き「出前授業」を実施した。

教室としてご用意いただいた場所は、なんとバレーボール 1 コート分以上の広さがある体育館であった。体育館での実験教室は JCOAL では初めてであり、同実験教室のレイアウトが間延びしないよう、展示パネルが遠く感じないようにするなど工夫をこらした空間にした。

午前・午後の各一回、約 40 分の教室で、実験内容は『石炭と石を分ける選炭実験』『蒸気による発電実験』『石炭は本当に燃えるのか（燃焼実験）』の 3 つを実施。合間に石炭の生成や利用方法について説明し、坑内掘りや露天掘りの動画を視聴する時間を設けた。（午前午後共に）各教室定員 30 名のところ、午前実施回：26 名、午後実施回：28 名と、各回ほぼ満席にてお子様が参加。保護者の方には見守っていただいた。

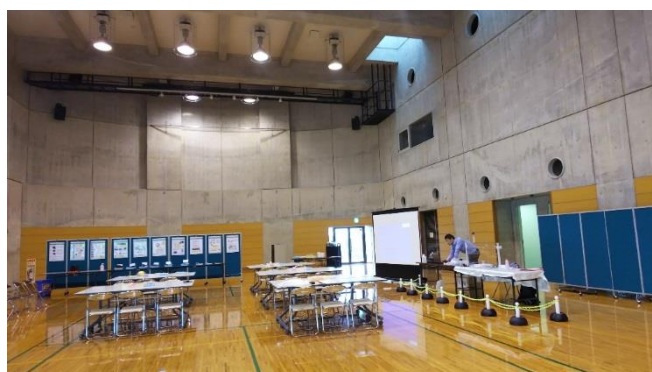
生憎の雨天であったが、参加されたお子様・保護者の方ともに皆さま熱心に話に聞き入り、積極的に実験に参加し、燃焼実験では乗り出すように石炭の燃える様子を観察されていた。盛況に終わることが出来、お招きいただいた『J-POWER&よんでん Wa ンダーランド』様にもご満足いただけたものと確信している。機会があればぜひ色々な場所での出前授業に赴きたいと、改めて決意した次第である。

JCOAL では、出前授業のご要望をお待ちしております。

下記（フッター）のメールアドレスまたはお電話にて、ご連絡・お問い合わせをおまちしております。



（左）実験道具



（右）レイアウトした実験教室





石炭の燃焼実験は最大の盛り上がり！



各テーブルによる実験風景

Waンダーランド 科学の不思議にふれてみよう

夏休み自由研究お手伝い 石炭ラボ

石炭って何!?

開催内容

1. 実験(お)確かめよう!
1. 石炭をさがせ!
2. 電気の作り方
3. 石炭を燃やすとどんな三オイ?
2. 石炭ミニテストにチャレンジ!
全問正解で賞品をゲットしよう!

開催日時 2019年 7/15 月祝 9:11:00~ 14:00~

場所: Waンダーランド(体育館)

参加者大募集!
各都府県小学生30名
応募締切: 6/25(水) 15:00
抽選日: 7/1(日)
抽選結果: 抽選結果発表
各都府県代表者発表

Waンダーランド 03-6402-3251 <http://www.jp-wonderland.jp>

今回の実験教室
「J-POWER&よんでん Wa ンダーランド」のフライヤー

企画広報部 殖田桜子



■「エネルギー環境教育学会」高知で全国大会開催__JCOAL 参加

8 月 5 日（月）～7 日（水）に日本エネルギー環境教育学会の第 14 回全国大会が高知工科大学で同総会、特別講演、シンポジウム、ワークショップ等が開催され、JCOAL からは当方（田野崎）が参加してきた。同学会での参加者の 70%は小中高校の教員であり、夏季研修期間中の情報収集、能力向上や、成果発表を機会する場でもあった。昨年度は山形大学で開催され、来年度は静岡大学で今年と同じ時期に開催される予定となっている。引き続き活動していく予定である。

JCOAL は展示コーナーに 本物の「石炭粒」、今年作成したまんが「石炭のひみつ」などの他、パンフレットや「クリーンに使われる石炭」などの刊行物を展示した。参加者が積極的に直接手に取り、展示した刊行物の殆どで在庫が無くなり。関心の高さが伺えた。

また口頭発表においては、当方より理科教材や、（産業遺産の観点から）社会科教材のとしての活用について説明。発表を聞かれた方からのコメントの一例として「石炭はエネルギー資源で唯一見て触れられる“教材”でもあり、物流における輸送特性を含め、その項目をもっと強調すべき」との指摘をいただいた。40 歳代以下の教員においては『石炭を見たことも触れたこともないとのことで、もっと石炭を解説して欲しい』との意見・リクエストも出た。「社会科」・「理科」でのカリキュラムは制約がされているが SDGs をもとにしたエネルギー環境教育実践の場は「家庭科」に期待されている。食物マイレージをはじめ、我々の日々の生活が世界貿易の賜物であることの成果が報告されていた。50 年前と現在の生活を比較する報告があり、「石炭の直接利用がなくなり電化の進展が最大の違い」との結論で締め括られていた。



（左）質疑応答の様子

（右）展示ブースの様子

企画広報部 田野崎隆雄



■第 1 回炭素資源セミナー 活動報告

JCOAL では、炭素資源利用に関わる知見を共有化し、新たな技術開発テーマの創出に資することを目的として、セミナーを開催することとした。この度、第 1 回炭素資源セミナーを 6 月 25 日に都内に開催した。セミナー参加者は、JCOAL 会員企業／団体などから約 60 名であった。

JCOAL の須山千秋炭素循環室長の司会で、JCOAL 橋口昌道専務理事の開催挨拶の後、基調講演として、資源エネルギー庁長官官房カーボンリサイクル室 吉岡正嗣室長代理（石炭課課長）より「カーボンリサイクルについて」をテーマに、カーボンリサイクルの経緯・背景、カーボンリサイクル技術ロードマップ、G20 の成果、今後の取組等についてなど基調講演をいただいた。続いて、株式会社ユーグレナ 出雲充代表取締役社長より「僕はミドリムシで世界を救うことに決めました。」をテーマに、東京大学初のベンチャー企業の起業から上場までの軌跡、ミドリムシ由来のバイオジェット燃料の研究開発の取り組み等についてご講演をいただいた。

講演後にパネルディスカッションの時間を設け、「官から民へ、民から官へお願いしたいこと」「イノベーションには何が必要か」等の質問に対し、活発な議論が行われた。

参加者からは「二人のパネルディスカッションは大変興味深かった」「次回は研究関係の話が聞きたい」等のご意見をいただいた。次回は来年度開催予定である。



開催挨拶（JCOAL 橋口昌道専務理事）



基調講演（経済産業省資源エネルギー庁吉岡正嗣様）



講演（株式会社ユーグレナ出雲充様）



パネルディスカッションの様子

技術連携戦略センター



国際ニュース

■豪州: AUSTRALIA 'S MINIG MONTHLY における5大トピック

豪州での AUSTRALIA 'S MINIG MONTHLY における1ヶ月間のトピックスをご紹介（アジアでの鉱山業と比較すると、だいぶ異なっていて興味深い内容となっております）。

1. 『クイーンズランド州ボーエン盆地のより広い面積が掘削』（2019/8/5）
原料炭及び一般炭鉱山開発のために5つの鉱区が開発中。アダニもそのひとつ、Lynham 鉱業相は Point や Gladstone の港と結びつけた鉄道網を整備すると言及。
2. 『ラッセル谷の開発計画を修正』（2019/8/5）
ニューサウスウェールズのラッセル谷炭田の坑内掘拡張計画、最終的に改訂されるプロジェクトレポート、および答申を、計画、産業、および環境の各部門への2番目の計画アセスメント委員会に提出。



ボウエン地区を視察する大臣



ウーロンゴンの坑内掘



昨年の北ウーロンゴンの火災

3. 『（現地時間）8月12日ニューサウスウェールズ州のフェダイ鉱山で軽車両の死亡事故』（2019/8/13）
同事故のため業務は一時中断。殺人事件が疑われている模様。
4. 『北ウーロンゴンの火災の原因』（2019/8/13）
ピーボディエネルギーのレビューで、クイーンズランド州鉱山局が「去年9月の鉱山火災より以前に、ガス噴出を十分把握していない可能性があった」と言及。
5. 『鉱山労働者に公休日を業務分として賃金支払い』
ウィルソン協定による採掘とエネルギー関連労働組合員は、業務公正委員会の決定の後に、公休日国民祝祭日に勤務当番を割り当てられた分のペイバックを受け取る。ウィルソンの企業協定は、公休日において無賃金で勤務当番を割り当てられた鉱山労働者に通常勤務8時間分を追加し支払い、更に平均的ボーナスを追加で支払うべきとしている。同協定は2017年に権利付与の支払いをやめ、追加支払いがされなかった。一方、業務公正委員会は同協定における錯誤においては、不労働日と休暇日は同じではないという判決を下した。採炭産業において継続的な24時間稼働状況では不労働日がなく、全日を勤務当番割り当てがされている。業務公正委員会副委員長イングリッドアズベリー氏は「採炭産業においては、炭鉱労働従事者が祝祭日での選択を決めること要求されるが、実際は彼らが祝日における選択肢を全く持っていないという現実を認識すべき」と言及している。
（全て AUSTRALIA 'S MINIG MONTHLY より抄訳）

企画広報部



■英国: 同国初の CCU および炭酸ナトリウム製造のデモプラント建設を Tata Chemical 社が計画

(ロンドンの各マスコミによる報道) Tata Chemical Europe 社 (以下、TCE) は、排ガスを回収して炭酸ナトリウムを製造する英国初の産業規模の CCU (carbon capture and utilization) 実証プラントを建設する計画だと、2019 年 6 月 27 日の木曜日に発表した。

この約 1,670 万ポンド (約 21.5 億円) 規模にもおよぶプロジェクト実施場所は、イングランド北西部のチェシャー (Cheshire) 州にあるノースウィッチ (Northwich) 工業団地で 2021 年に運転開始予定である。

TCE は英国で唯一のソーダ灰と重炭酸ナトリウムの製造業者であり、国の主要な塩生産会社のひとつである。その生産物は、ガラス、食品、製薬および化学製造業に用いられている。また、英国で最大の液化炭酸ガスのユーザーでもある。食品用液化炭酸ガスは高純度の重炭酸ナトリウム製造に用いられ、主に医薬品と血液透析のひとつの材料に用いられる。『この CCU デモプラントは重要な原材料の供給を確保しながら、我々の炭素排出量を削減可能にし、世界中へ我々の製品輸出の促進することに役立つだろう』と TCE のマネージングディレクター Martin Ashcroft 氏は 6/27 のプレスリリース中に述べている。発電所や工場から排出される CO₂ を回収し、圧縮し、貯留し、そして利用可能にする「炭素循環」技術開発の同社のプロジェクトについても述べている。

多くの国々が気候変動対策目標を達成の為にプロジェクトを開発するも、コストが問題のひとつとされている。国際エネルギー機関によると、今世紀半ばまでに、約 60 億トンの CO₂ 貯留が必要とされているが、実地による大規模プロジェクトの数は少ない。多くの環境保護論者は「地球温暖化を制限するために、エネルギーの使用を急速に大幅に削減する必要があるが、炭素回収を推奨することは化石燃料の使用を継続させるのではないかと」警鐘を鳴らす。

しかし、CCU においては、CO₂ を貯留するだけのものではなく CO₂ を資源として活用し、プラスチックもしくはバイオ燃料などの他の物質を作るものである。TCE の CCU プラントは 96 MW のガス複合火力発電所から CO₂ を回収し、精製、液化した後に重炭酸ナトリウムを製造するものだと同社は述べている。同プラントは TCE の CO₂ 排出量を 11%削減し、年間最大 4 万トンの CO₂ を回収し (資源) 利用する能力があるとされる。

温室効果ガス排出量を 2050 年までにゼロにするという英国の目標が上記同日 (2019 年 6 月 27 日の木曜日) に法制化され、このような目標を定めた G7 で最初の国となった。他の多くの国々においても、このような CO₂ 回収大規模プラントが必要になるであろう。また、同日に英国の電力会社 Drax は自社発電所から炭素回収する構想計画のために 500 万ポンド (約 6.5 億円) の助成金を政府から受領している。

ニュース元: <https://www.reuters.com/article/us-tata-chemicals-carboncapture/tata-chemicals-plans-first-uk-industrial-carbon-capture-demo-plant-idUSKCN1TR3AJ>
より抄訳

技術連携戦略センター



■ベトナム:Van Phong 1 石炭火力発電所の建設工事開始

住友商事株式会社は 100 パーセント子会社である Van Phong Power Company Limited 通じ、Van Phong1 石炭火力発電事業〔発電容量 1,320MW (660MW 発電設備ユニット×2 基)〕の超臨界圧石炭火力発電所を新たに建設し、25 年間にわたりベトナム電力公社 (Vietnam Electricity: EVN) に対し売電予定で、2023 年内の商業運転開始を目指す。ベトナムでは、高い経済成長に伴う電力不足の解消が喫緊の課題で、ベトナム政府は、2016 年策定の改定版第 7 次国家電力開発計画に基づき、2025 年までに 96,500MW、2030 年までに 129,500MW に増強する。

Sumitomo Corporation によるプレスリリースを抄訳：

<https://www.sumitomocorp.com/en/jp/news/release/2019/group/12310>

企画広報部

国内ニュース

■我が国における「SDGs グローバル指標」を総務省が公表

総務省は、8 月 8 日 (木) に我が国の指標を、関係府省の協力の下で取りまとめ『JAPAN SDGs Action Platform』において公表した※1。SDGs については、2015 年 9 月の国連サミットで採択されている。そして、その進捗を測るためのグローバル指標の枠組みが、2017 年 7 月に国連総会において承認されている。今回の総務省による本件の公表は、今後の日本国における“SDGs の考え方”の基本をなすものとして留意する必要がある。

※1 総務省によるプレスリリース：

http://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/index/kokusai/02toukatsu01_04000212.html

企画広報部 高橋継世

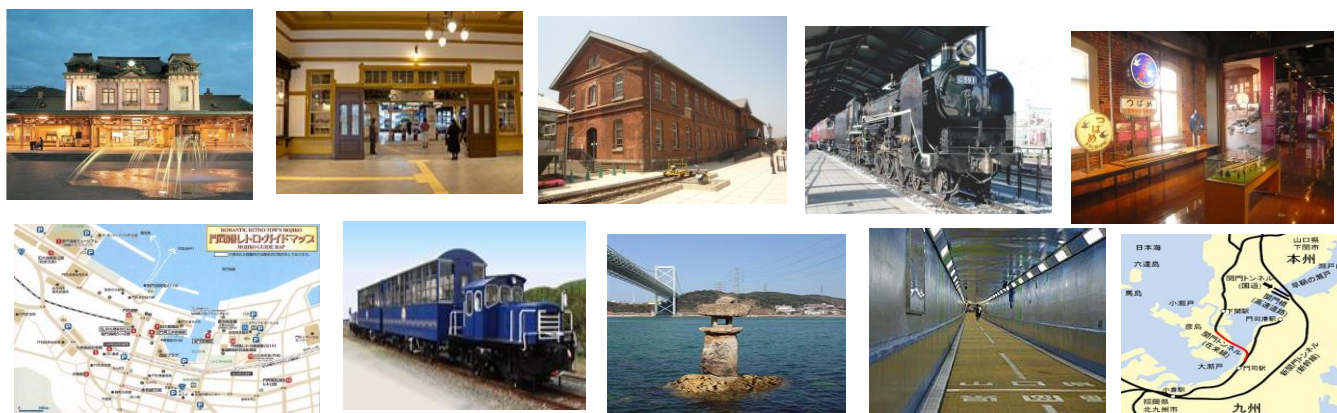


炭鉱／博物館／世界遺産めぐり

■コラム 世界の石炭博物館巡り 46 九州編 4(北九州前編)

「門司港駅」は、関門トンネルが開通するまでは九州の鉄道の玄関口であり、対岸の下関駅との間に就航した関門連絡船との連絡中継駅として賑わいました。2019 年 3 月 10 日にリニューアルしたクラシックな帝冠式駅舎は、古き良き時代の「鉄道の雰囲気」を漂わせています。広くて長いホーム、改札を出ると、トイレの手洗いに手水鉢に、古めかしい蛇口。駅そのものにレトロ感がしみわたり、この駅がターミナルであったことを偲ばせています。この駅の初代は「門司駅」を名称に 1891(明治 24)年に開設。1901(明治 34)年には関門連絡船の運航が開始され、本州の鉄道と結ばれて多くの旅客と貨物がこの駅を経由することになりました。駅の東側の車両留置線の中からさらに北の方向へ、かつては外浜駅まで鹿児島本線の貨物支線が伸びていましたが、この路線は 2005 年に営業が休止された後、この線路を再利用する形で 2009 年から「門司港レトロ観光線」として運行されています。運営は「平成筑豊鉄道」。終点の「関門海峡めかり駅」は壇ノ浦合戦場のまん前。上には関門橋、地下には関門国道トンネルが通る交通の要所です。関門国道トンネルには人道があり、歩いて海峡を渡ることができます。

九州の鉄道の起点としての地位を保っていた同駅でしたが、1942(昭和 17)年の「関門トンネル」の開通に伴い当初の名称「門司駅」は、関門トンネルが接続することになる「大里駅」が使うことになり、同駅は「門司港駅」へと改称しました。駅を左に出たすぐの岸壁が、高倉健最終出演となった映画『あなたへ』のラストシーンになる所です。「旧大連航路上屋」は、1929 年(昭和 4)年に「門司税関 1 号上屋」として西海岸に建設され、門司港の国際ターミナルとして使われていました。2013 年 7 月に改装された後は憩いの場、そして芸術・文化の発信拠点として北九州市民や観光客に親しまれています。館内にある「松永文庫」では、門司港出身の松永武氏が収集した 1 万数千点もの貴重な映画関連の資料(ポスター・パンフレット・シナリオ・新聞スクラップ・映画雑誌・スチール写真等々)を観覧できます。「門司港レトロ」は北九州市門司区の観光スポット。JR 門司港駅周辺地域に残る観光スポットで、国土交通省の都市景観 100 選に選ばれています。「旧門司税関」が建設されたのは、1912(明治 45)年で、その前身の門司長崎税関出張所は 1855(明治 18)年の設置。この税関出張所の設置申請を目指したのは、NHK の朝ドラ『あさが来た』のヒロインのモデルにもなった「広岡浅子」です。



左から順に(上段)門司港駅正面、同左改札口、九州鉄道記念館、同左屋外展示、同左館内展示、(下段)門司港レトロマップ、門司港レトロ観光線車両、めかり付近関門海峡、関門トンネル人道、関門海峡交通図



彼女は、筑豊にあった炭鉱から遠い長崎港ではなく、より近い「門司港」から石炭輸出を目論みました。そして門司港で初めて石炭の輸出の許可を受けると、1896(明治 29)年に門司港は日本最大の石炭積み出し港へと発展し、現在の「門司港レトロ」地区の礎となりました。1889(明治 22)年に門司港は特別輸出港に指定され、長崎税関の出張所として、門司長崎税関出張所が日本郵船会社の一室を借りて設置されています。

駅を出て右手に「九州鉄道記念館」があり、緑の山々を借景にSLの展示が見られます。この「九州鉄道記念館」は 2003 年に開館しました。門司港駅の敷地面積約 7,800m²。旧 O 哩標があります。また 2007 年には、本館(旧九州鉄道本社)が近代化産業遺産(北九州炭鉱 - 筑豊炭田からの石炭輸送・貿易関連遺産)に認定され、2014 年には国の登録有形文化財に登録されました。もちろん SL 実物も展示されていますが、館内には友好関係にある台湾産の石炭が展示されています。

そして門司で忘れてはいけなのが、「バナナの叩き売り」。映画『男はつらいよ』では主人公の寅次郎が叩き売りをするシーンが数多く登場しています。その紹介をしているのが、「関門海峡ミュージアム(現在改装中/2019 年 9 月リニューアルオープン予定)」。門司が台湾からのバナナ輸入船の寄港地であったことから「叩き売り」が生まれた発祥の地となっています。バナナが日本に輸入されたのは 1903(明治 36)年頃で、台湾の基隆(キールン)の商人が神戸に持ち込んだのが始まりです。それが大量輸入されるようになった 1909(明治 42)年以降に、多くのお客さんに足をとめてもらうために、七五調など日本独自の文化も取り入れながら、口上が発達していったとされています。また「北九州市旧門司三井倶楽部」は、港町にある歴史的建造物で国の重要文化財に指定されています。山あいより門司港レトロ地区に移築されたものです。1921 年(大正 10 年)に三井物産門司支店の社交クラブとして建てられました。接客用の洋風の本館と、それと接続する和風の付属屋・倉庫からなり、1949 年(昭和 24 年)から「門鉄会館」として利用されその後北九州市に譲渡。本館は木造 2 階建て、アインシュタインが 1922 年(大正 11 年)に宿泊した 2 階の部屋が当時のままの状態「アインシュタインメモリアルルーム」として展示。小森江の出生とされる林芙美子にちなみ、「林芙美子資料室」もあります。

さて門司港駅から電車で 3 駅分の小倉に移動します。現在では北九州モノレールも乗り入れる一大ターミナルでもある小倉。小倉の歴史を軽くまとめると、「関ヶ原の戦いの論功行賞により豊前国の統治を始めた細川忠興が 1602(慶長 7)年当地に小倉城を築く。1866(慶応 2)年の長州征伐において長州藩側の反撃を受けて、小倉藩自らの手により小倉城は火が点けられ焼失(現在の小倉城は 1959(昭和 34)年に復元)。明治に入り、廃藩置県により小倉県が成立も福岡県に合併。森鷗外は、軍医時代に一時期小倉に赴任。小倉は小説『無法松の一生』の舞台でもあり、毎年 7 月末頃開催される小倉祇園太鼓は別名「太鼓祇園」と呼ばれ、坂本冬美の演歌『あばれ太鼓』でも歌われている。そして、第二次世界大戦の終結直前、1945(昭和 20)年 8 月 9 日のアメリカ軍による長崎市への原子爆弾投下目標は当初は小倉であったとも言われる。」



順に 旧門司税関

関門海峡ミュージアム

バナナの叩き売り

旧門司三井倶楽部

小倉駅

小倉城



小説家の「松本清張」は、年譜では父親が炭鉱景気に沸く北九州に移ったことで小倉出身とされました。同氏の小説『或る小倉日記伝』で 1953(昭和 28)年の芥川賞を受賞。受賞以降は歴史小説・現代小説の短編を中心に執筆。1958(昭和 33)年には『点と線』を発表。この作品がベストセラーになり松本清張、社会派推理小説ブームを起こす。以後『ゼロの焦点』『砂の器』等の作品もベストセラー、戦後日本を代表する作家となり、現在では「松本清張記念館」ができています。

一方、“北九州市”としての歴史は「1901(明治 34)年に筑豊炭田から近い八幡村(後の八幡市)に官営製鉄所が設置され、日本国内最大の鉄鋼供給地として工業化が進展した。北九州では、港湾と鉄道が一体となった国際貿易港と鈴木商店による食品工業が集積する門司、軍事産業が集積する小倉、石炭の集散地の若松、官営八幡製鉄所が操業する八幡、紡績や石炭関連産業と水産基地の戸畑と、様々な産業特性の顔を持つ都市が、洞海湾沿岸で互いに競いながら発展。戦後も、鉄鋼・金属などの重工業を中心に発展し、市境を越えた連携が必要となったため、1963(昭和 38)年に門司、小倉、若松、八幡、戸畑の五市の対等合併を経て、九州初の政令指定都市「北九州市」が誕生。」近現代では、1990 年代後半までは地域経済に占める製造業の割合が大きかったが、2000 年代にはサービス業と逆転し、産業構造の転換が進んでいます。

さて、こんな小倉の街の中にも炭鉱がありました。明治から大正期にかけて、現在は小倉北区内になる「足立村」ではあちこちに穴を掘って中小の鉱山が乱立しておりました。その経緯や歴史は複雑極まりないものとなっています。その中の「神代炭鉱」は、大正 3 年に開坑、1927(昭和 2)年に「勝山炭鉱」へ買収されています。この炭鉱は 1935(昭和 10)年に「小倉炭鉱」と改称され、その後山口県宇部市の「古谷炭業」傘下に入り、「小倉炭鉱組合小倉炭鉱」となりました。この炭鉱が、1965(昭和 40)年の閉山まで生き残った、いわゆる「小倉炭鉱」です。小倉北区の寿山小学校で記録を残しています。また到津地区にも小規模な鉱区がありました。



左から順に
松本清張



2012 年に発掘された小倉炭鉱坑口



小倉炭坑鳥瞰図

企画広報部 田野崎隆雄



その他レポート／教育等

■ JCOAL 業務紹介(技術開発部_「石炭の自然発熱性評価技術の開発」)

JCOAL スタッフに焦点を当て、JCOAL がどんな活動をしているか、アッシュ君にインタビュー形式にてご紹介する 第2弾！



崎元

早速だけど、名前と部署と生年月日を教えて！



アッシュ君

僕の名前は「崎元尚土」部署は「技術開発部」に所属しているよ。1982 年 3 月 28 日生まれだよ。

牡羊座だね！そして、技術開発部に居るんだ！
JCOAL では活躍する人たちが多い部署だね！



アッシュ君

JCOAL に来る前はどんなことをしていたの？



崎元

産総研（産業技術総合研究所）に居たんだ。そこでは石炭の中でも、主に鉄鋼の「コークス」について研究開発をしていたんだ。世界に沢山あると言われる「低品位石炭」を、環境に優しくかつ高効率でコークスに使用するという研究をしていたんだよ。

環境に優しい石炭（コークス）の研究！すごいね！
学生時代は何を研究していたのかな？



アッシュ君

学生時代は資源寄りの研究で、コールベッドメタン（非在来型天然ガス）について学んでいたんだよ。



崎元

さすが！研究熱心だね！
今、JCOAL ではどんなことをしているの？



アッシュ君

「石炭の自然発熱性評価技術の開発」に取り組んでいるよ。
2019 年度からはこの開発の国際規格化に取り組んでいるんだ。



崎元





崎元さん、お仕事中のところをパチリ（撮影：アッシュ君）

石炭の発熱…って、インドネシアの泥炭火災とかが関係しているのかな？



アッシュ君



崎元

アッシュ君、よく知っているね！
インドネシアの泥炭火災だけでなく、日本では佐賀のズリ山、アメリカや内モンゴルで炭鉱の石炭資源など、そういった石炭火災の抑制や鎮火につながる研究へ取り組む事業でもあるんだ。

(2) 石炭の自然発熱性評価技術の開発

石炭利用技術の発展と共に従来よりも低品位な石炭の利用が可能となり、日本でも亜亜青炭の利用が増えつつあります。一方、このような石炭は自然発熱のリスクも高く、鉱山、輸送、発電所・製鉄所等において、自然発熱課題への対応が求められています。JCOAL では、適切な石炭自然発熱対策を目指して、2015～2017 年度に NEDO 事業として自然発熱性評価装置の開発を実施しました。この成果を活用して、2018 年度より石炭の自然発熱性評価方法の国際規格化に取り組んでいます。



石炭パイルからの発煙

崎元さんが担当する事業は、JCOAL パンフレットではこんな風に（上記画像）紹介されているよ。早く火災抑制の役に立てるといいな。



アッシュ君



石炭を「より安全に」使う」ための研究なんだね。色々な人の研究でより良くなっていきたいね。僕も勉強になったよ！



アッシュ君

崎元さん、これからしてみたいことや、目標ってある



崎元

石炭の関連事業はこれからもずっと続けたいと思っているんだ。

うん。うん。



アッシュ君

石炭をより効率的にクリーンに環境に優しく使う「クリーンコールテクノロジー」や、今よりももっと先をいく次世代技術の「リノベーション」は、途絶えさせていけない研究だと思うんだ。石炭に否定的な人はいるけれども、描いている将来像や、見えているゴールは同じだと思うし、いつかは解り合える、そんな日が来ると信じているし、そんな日の為に研究は続けたいと思っているんだよ。



崎元

僕（石炭灰のアッシュ君）だけでなくコール君（石炭）や、かったん（褐炭）達も、もっともっと、みんなに喜んでくれるような存在で居られたらなと思っているんだ。

崎元さん、色々お話を聞かせてくれてありがとう！これからもがんばってね！



アッシュ君



休日は、なるべく外に出てお子さんと一緒に遊ぶように心がけているけれども、こどもが元気いっぱい過ぎて体力的にきついと、笑顔で語っていた崎元さん。今、取り組んでいる事業内容も、これからの石炭の将来についても、とても真摯にお話していただきました。石炭に否定的な人とも「いつか解り合える日が来る」と、崎元さんが言うと本当に実現しそうな未来に聞こえてくる、そんな人間性が伝わってきました。

次回も、JCOAL の取組紹介と担当の方にインタビューをします。
お楽しみに！



崎元さん、ありがとうございました。



■夕張から石炭カステラをご紹介します(夕張石炭博物館再開に石炭スイーツ新商品)

4 月の模擬坑道の火災以来、再開が期待されていた「夕張市石炭博物館」は、模擬坑道を除いた部分で 6 月 8 日より営業再開しているが、夕張を元気づけようと、夕張市内の阿部菓子舗^{※1}では、「石炭カステラ」を発売した。「石炭カステラ」は同店舗^{※1}のほかにも「夕張市石炭博物館」でも販売されている。チョコ入りで真っ黒なこのスイーツは、同社では 3 年ぶりの新商品という。竹炭で着色されたカステラはしっとりしており重量感がある。同社のラインナップには、同じく石炭をモチーフにした「たんだら」や「夕張メロンパン」もあり、石炭関係者としては、ぜひご賞味いただきたいところである。



「石炭カステラ」画材提供（有）阿部菓子舗殿

※1 阿部菓子舗：（店舗 〒 068-0755 北海道夕張市紅葉山 529-9 メロード内）
（TEL 0123-58-2021）／（営業時間 10:00～19:00）
店舗ホームページ：<http://www.meron-manjyu.com/>

企画広報部



■ミュージカル『ビルリー・エリオット』2020 年夏に日本再演が決定

炭鉱で育った少年が夢を叶えるストーリーのミュージカル『ビルリー・エリオット』の日本での再演が決定！再演時期は 2020 年夏とホリプロにて発表された。ミュージカル『ビルリー・エリオット』（原題：Billy Elliot the Musical）は『リトル・ダンサー』の邦題で上映されたヒット映画（原題：『Billy Elliot』、監督：スティーヴン・ダルドリー）をミュージカル化。日本では長年のオファーを経て、2017 年 7 月から 11 月にかけて東京と大阪で日本人キャストによる日本語版が上演された。主役のビルリーはバレエ、タップダンス、アクロバット、歌、芝居といずれも高いレベルのものが求められる難役で、初代日本人キャストには 1 年以上の長期間に及ぶ厳しいレッスン＆オーディションを実施。1,300 人以上の中から選抜された 5 名の少年キャストによるビルリーたちや吉田鋼太郎、益岡徹、柚希礼音、島田歌穂ら実力派俳優陣が参加したことで話題を集めた。2017 年の公演では JCOAL Magazine をご覧の皆様に優待販売という形で JCOAL Magazine で宣伝し応援していました。主人公の父親役を演じた吉田鋼太郎さんからも「石炭エネルギーセンター・メールマガジンをご覧のみなさまへ」と動画メッセージを貰い公開させていただきました（現在同動画は参照できません／2017 年 6 月 29 日 JCOAL Magazine 発行号にて掲載）。今回の再演も、JCOAL は応援します。

**2017年夏、東京&大阪で16万人を動員し、
日本中が涙したビルリー・エリオットが帰ってくる!**

待望の再演

BILLY ELLIOT

THE MUSICAL



**トニー賞10冠 オリヴィエ賞4冠ほか
全世界で80以上の演劇賞受賞**

is BACK!!

2017年
菊田一夫演劇賞 大賞

2017年
読売演劇賞 選考委員特別賞

2020年夏 上演決定

東京公演 TBS赤坂ACTシアター 大阪公演 上演予定

主催 ビルリー・エリオット 2020 製作委員会

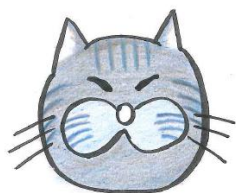
企画広報部



■教えて！にゃんコール教授！（番外編）「石炭って燃えるの？」

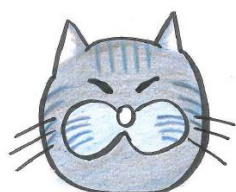
いつもは、みんなの質問に答えていくが今回は 8 月 7 日（水）・8 日（木）に、科学技術館で実施した「夏休み石炭実験教室」について紹介するぞい。

「夏休み石炭実験教室」って、どんなことをしてきたの？



夏休み中の小学生以上のお子様を対象に
A と B と 2 つに分けて実施したんじゃよ。
A は「石炭を手に入れよう」と題し、選炭について
B は「石炭を使ってみよう」と題し、発電について

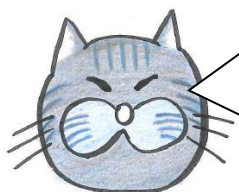
A と B は共通して「石炭って本当に燃えるの？」と
題して、実験を行ったのじゃ。



機関車をモチーフにしたアニメで「石炭は燃える」というのは知っておったようじゃが、自分の目の前で実際に燃えているのを見たのは殆どの子が初めてだったようじゃ。

お子様だけでなく、保護者の方も初めて見る人は多く、成長動画と共に実際に燃えている動画を沢山の人が撮影しておったぞ。





A の「石炭を手に入れよう」と題した教室では、石炭の実際に燃える実験以外にも、「石ころと石炭って分けられるの?」と題し“選炭”の手法にもなっている方法を実験したぞ。

ビーカーの中の液体に、石炭と石ころが混ざったものを入れると…石炭だけが浮いて石と石炭を分けることが出来るというものなんじゃ。

これも実際に浮くのを見たこどもたちは一同に驚き、「偶然浮いたんだ!」と思った子が、匙でビーカーをぐるぐるかき混ぜても浮くのを見てさらに不思議がっておったぞ。



実験って楽しいよね。次は僕も行きたいな。



実験器具を扱うのが楽しいということは、とても良いことじゃの。“実際にどうなるのか”というのを再現して確認するというのは科学では大切な方法の 1 つであるし、もっともっと科学を好きになってほしいと思ったのじゃ。

参加者の皆様の色々な表情を見ることが出来て、「次はこうしてみよう」「もっと色々石炭のことを知ってほしい」「楽しく覚えてほしい」と思い、次に生かそうと思う“気付き”も沢山ありました。

我々JCOAL の職員も、1つの方法や一方向に教えるだけでなく「様々に理解していただける方法」を、もっと知りたいし学ばねば!と感じました。

「教えて!にゃんコール教授」のコーナーでは、みなさんからの質問を受け付けております。どんなことでも、にゃんコール教授が答えます!ページ下記までご連絡お待ちしております。



■新コーナー！ にゃんコール教授が石炭グルメをご紹介！

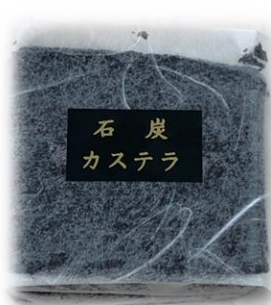
JCOAL では、全国津々浦々の観光の目玉にもなっている石炭モチーフの美味しそうなものたちの情報は入ってくるものの、実際に食べる機会がなかったのですが…このたび！ にゃんコール教授が、各地に広がる石炭をモチーフにした“B 級グルメ”を実際に食べて食レポートをお届けするこのコーナーを新設！ 栄えある第 1 回目は、夕張の「石炭カステラ」を食べてみたいと思います。

夕張の「石炭カステラ」詳細

商品名「石炭カステラ」

店舗名：有限会社 阿部菓子舗

店舗ホームページ：<http://www.meron-manjyu.com/>（店舗の場所はこちらをご参照下さい）



（左）パッケージ面



（中央）裏面



（右）石炭カステラの本体

上記「夕張博物館再開に石炭スイーツ新商品」で紹介しているとおり、同社で 3 年ぶりに発売した新商品とのことじゃ。

では、いただきます！（むしゃむしゃ…）

一切れずつ個包装されておるから、配りやすいし貰いやすい優しい設計じゃの。開けてみてビックリじゃ！竹炭の色で染まったカステラ生地と、入っているチョコチップがゴツゴツしており、まるで本物の石炭のようじゃ！

ガトーショコラやブラウニーのようなものを想像して食べたのじゃが、ちゃんと味は「カステラ」であるのう。チョコの風味はほんのりという感じであるぞ。よく冷えた白牛乳や、濃く入れたブラックコーヒーやエスプレッソなどと合わせて食べたら最高じゃぞい。

旧炭鉱や、石炭産業で興隆した街では、観光の目玉として数々の石炭をモチーフにした B 級グルメがあると小耳に挟んでおるぞ。いっぺんには食べられないが、こうしてすこしずつ味わえたら最高じゃのう。

今回は、夕張の有限会社 阿部菓子舗さんの「石炭カステラ」美味しくいただきました。ごちそうさまでした。

また、わし（にゃんコール教授）が実際に食べる機会があれば報告するぞい。



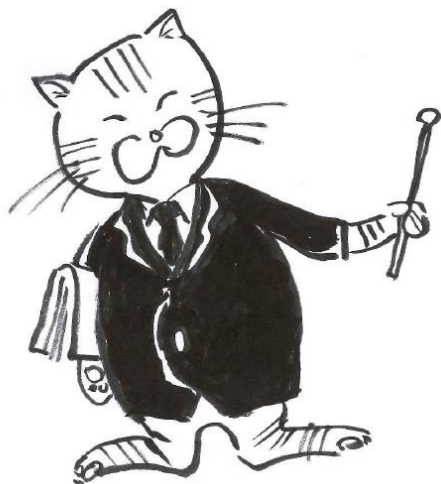
石炭カステラとわし（にゃんコール教授）で記念撮影
（わしの本体は編集長の岡本君作成じゃぞい）

一般財団法人石炭エネルギーセンター 〒105-0003 東京都港区西新橋 3-2-1

Daiwa 西新橋ビル 3F 電話 03(6402)6106 FAX03(6402)6110

購読メール配信のお申込／お問合わせ⇒jcoal-magazine@jcoal.or.jp まで





ニャンコール教授のひとこと
編集長の岡本君がわしを実体化をしたぬいぐるみを増産しておるぞ。(石炭カステラや、事業紹介で崎元君と共に画像掲載したぞい) アッシュ君やコール君、かったんも彼女が実体化したのじゃぞ。「欲しい!」という声もチラホラ聞こえてはきておるようじゃのう。
下記の↓クリーン・コール・デー国際会議の参加もお待ちしておりますぞい。

お知らせ

2019 年度／第 28 回クリーン・コール・デー国際会議開催のお知らせ

本年度のクリーン・コール・デー国際会議（第 28 回目）の開催も近づいてまいりました。つきましては、本日、クリーン・コール・デー特設頁にて、プログラムを更新させて頂きましたので、お知らせ申し上げます（下記 URL のホームページをご参照ください）。

なお、本年度の会議テーマは、『我々は、石炭で SDGs に貢献します～ゼロエミッションコールを目指して』です。特に、本年度の会議では、昨今の世界情勢から、石炭火力に対する投資問題に焦点をあてております。多くの皆様方のご参加をお待ちしております。

日程：令和元年（2019 年）9 月 9 日（月）、10 日（火）

場所：ANA インターコンチネンタルホテル東京（〒107-0052 東京都港区赤坂 1-12-33）

参加登録は今月末 8 月 30 日（金）まで受け付けております。

※プログラムおよび、参加お申し込みは下記 URL のホームページをご参照ください

<https://www.brain-c-jcoal.info/ccd2019/conference.html>

宜しくお願い申し上げます。



『石炭データブック COAL Data Book(2018 年版)』好評発売中

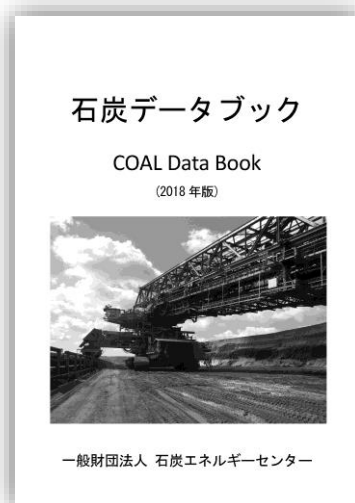
JCOAL では「コール・ノート」に変わる石炭専門のデータ本として、昨年『石炭データブック COAL Data Book (2017 年版)』を刊行。この度、2018 年の最新データにて更新した『石炭データブック COAL Data Book (2018 年版)』の発売を 4 月 1 日から開始しております。

2017 年版に引き続き、石炭の世界の埋蔵量、生産量、消費量および石炭に関する各国の状況をデータ中心にまとめております。主要産炭国の基本情報や政策、電力事情等の情報も更新しております。

この機会にぜひお買い求め頂けると幸いです（購入方法および各項目の詳細は、下記 URL をご参照ください）。

版型_A5 版 / 定価_2,500 円+税

販売中（下記サイトより購入方法をご参照ください）



<http://www.jcoal.or.jp/publication/coalDataBook/2018.html>

『石炭の開発と利用』好評発売中

石炭の上流部門から下流部門までの基本的なノウハウを図や写真などを交え、専門的な技術をわかりやすく記述した書籍となっております。

『石炭とは何か?』『どうやってできたのか?』から始まり、『石炭採掘方法から販売まで』『クリーンコールテクノロジー』『環境への配慮は?』等、石炭について知りたい情報を読みやすくまとめました。一般の方から専門家まで、この機会にぜひお読み頂けると幸いです。

版型_A5 版（183 ページ） / 定価_3,000 円+税

販売中（下記サイトより購入方法をご参照ください）



<http://www.jcoal.or.jp/publication/coalDevelopment/development.html>



『JCOAL コールバンク』の無料閲覧のお知らせ

JCOAL コールバンクは、もうご覧になりましたか？

（一部データは事前連絡が必要ですが）基本は無料で参照可能となっております。

※『Internet Explorer』では参照がエラーになる場合もありますが、『Google Chrome』だと参照可能となる事もあります（Google Chrome は無料でダウンロード可能となっております）。

まずは<http://www.jcoal.or.jp/coalbank/>をインターネットで参照すると以下のページが出ます。

一般財団法人 石炭エネルギーセンター
Japan Coal Energy Center

home
JCOALについて about
JCOALの事業 work
入札・公募 tender
石炭について学ぶ study
コールデータバンク data 会員専用
石炭灰 coal ash
書籍・刊行物 book
採用情報 recruit
会員さまへ member

JCOAL コールバンク
(石炭の産地・性状データベース)

JCOALでは、NEDOからの委託を受けて企業や大学・研究機関等のCCT開発やCCT事業化を効率的に支援することを目的として、世界各国の石炭に関する品質、特性等のデータを管理し、情報および実サンプルを提供する「JCOALコールバンク」を開発し、2018年4月から新運用を開始しています。

- JCOALコールバンクの特徴は以下のとおりです。
 - 無煙炭、亜煙炭、亜煙炭、褐炭まで世界中の100を超える様々な炭種が登録されています。
 - データの分析はJCOALの責任の元で実施しております。
 - データの閲覧は無料です。
 - 登録石炭の実サンプル提供が可能です。（有償）
- 想定される活用事例
 - 石炭調達の際、産地地の炭種を概観するのに利用。
 - 複数の研究機関が共通のサンプル炭で試験することにより、試験結果の比較検討や議論

-中略-

委員 寺前 剛 (山形大学 環境研究所 主任研究員 (環境技術担当))
委員 木本 政義 委員 (一般財団法人 電力中央研究所 エネルギー技術研究所 火力運用保守領域 上席研究員)

- JCOALコールバンクに登録している石炭のほとんどは、厳重に密封された状態で保管されています。20g程度のサンプル提供が可能ですので、ご希望の方は[こちらのE-mail](#)よりお問い合わせ下さい。なお、発送先は国内に限らせていただきます。
[販売価格：消費税込み、送料込み]
 • JCOAL会員企業および大学・国研：3.5万円/サンプル
 • JCOAL会員企業以外：5万円/サンプル
- データの取扱について
 - データの二次配布は禁止しています。
 - データ利用の際は出典を明記下さい。
- JCOALコールバンクについてのお問い合わせは、[こちらのE-mail](#)よりお問い合わせ下さい。

インターネットで、これと同じ画像の箇所をクリックするとデータが見られるよ

サイトマップ 関連リンク 個人情報保護方針 免責事項 お問い合わせ

（※初めてデータを参照する際は、アンケートおよびメールアドレスのご質問があります。）



データ参照に際し、不明点等がございましたら下記までご連絡ください。

JCOAL 会員募集

JCOAL は当センター活動にご賛同頂ける皆様からのご支援とご協力により運営されております。
会員にご入会頂き、事業や調査研究などにご参加頂けると幸いです。
※会員企業の方は、専用のウェブサイトのご利用が出来ます。(コールデータバンク等)の他、会員様限定のサービスなどございます。詳しくはホームページをご参照下さい。

(<http://www.jcoal.or.jp/overview/member/support/>)

会員へのご入会・お問合せは TEL 03-6402-6106 企画広報部まで



(会員様専用のサイト「コールデータバンク」)

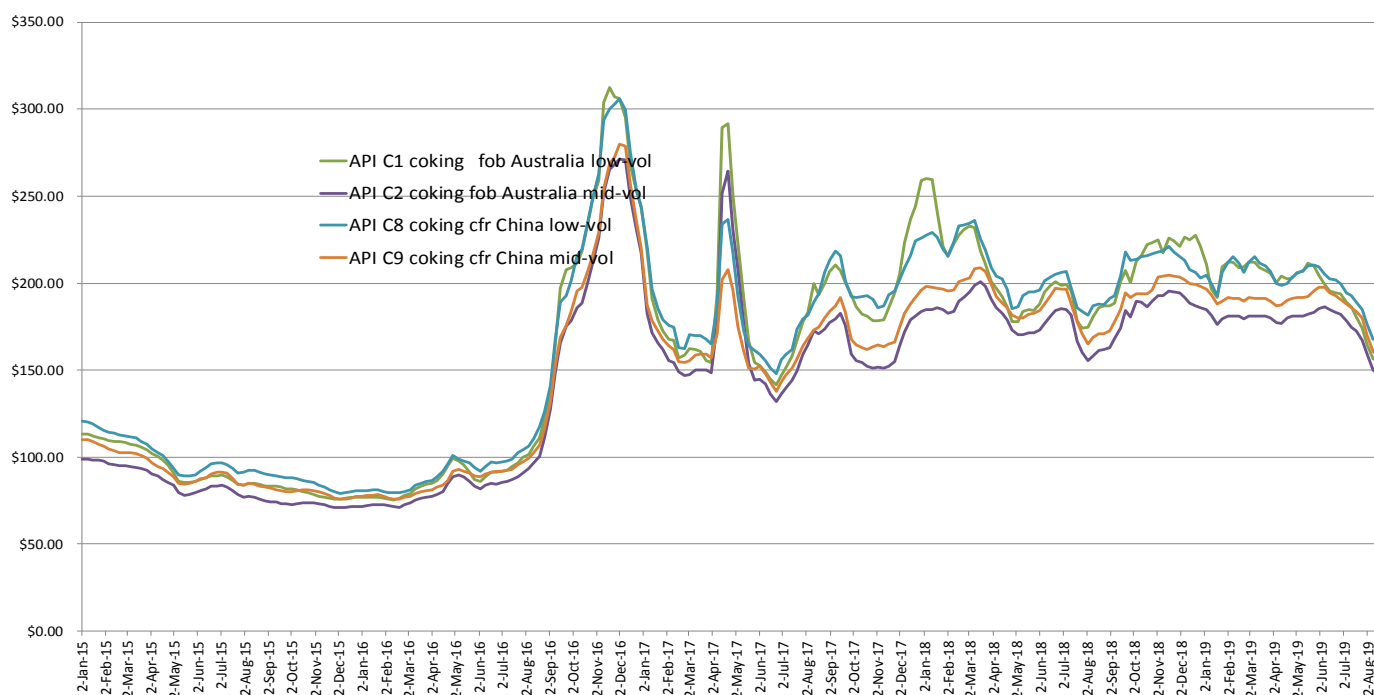
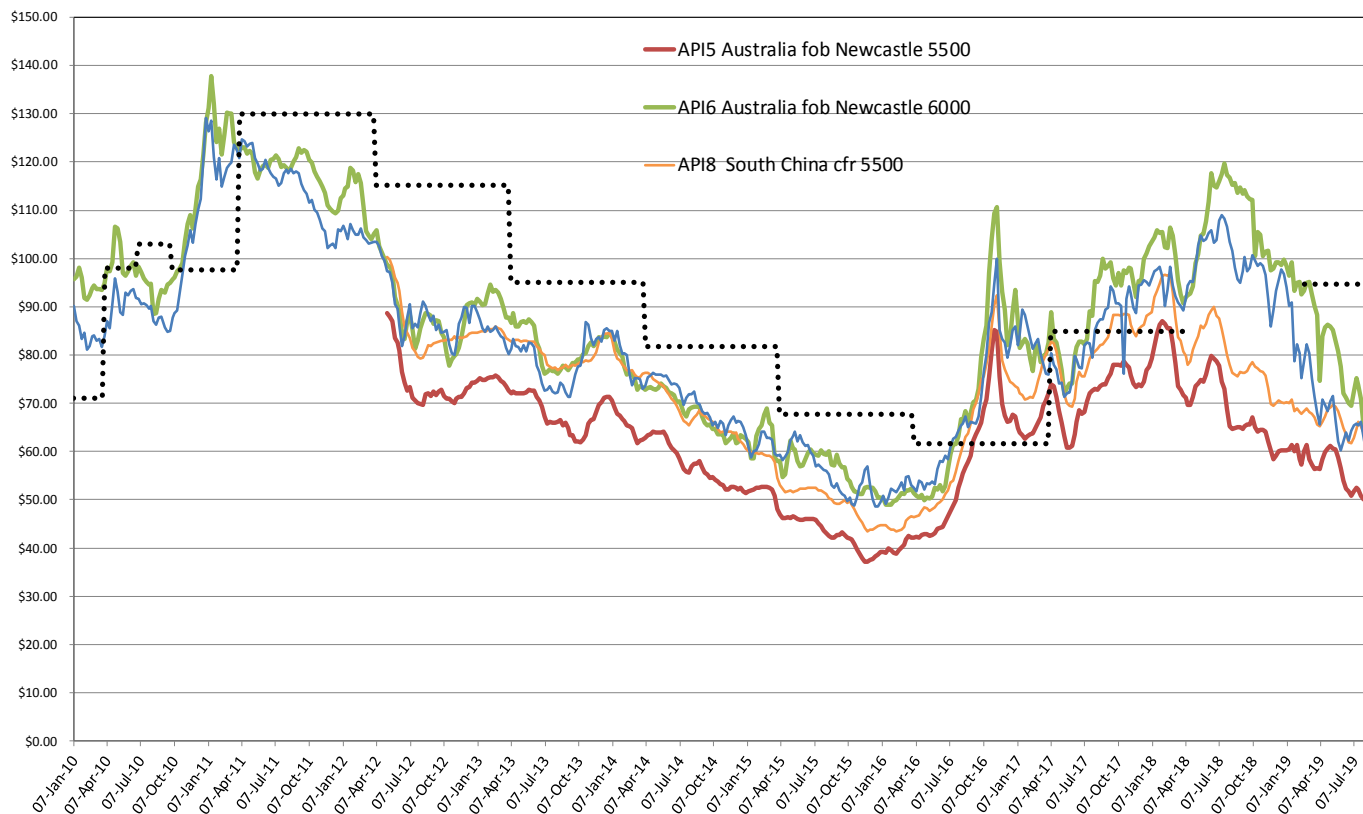




石炭価格動向



Argus/McCloskey's Coal Price Index



国内セミナー／会議情報

東京大学 エネルギー工学連携研究センター

各開催詳細はこちら→<https://www.energy.iis.u-tokyo.ac.jp/html/seminar.html>

一般財団法人 日本エネルギー経済研究所

各開催詳細はこちら→<https://eneken.iej.or.jp/seminar/index.html>

独立行政法人 国際協力機構(JICA)イベント・セミナー情報

各開催詳細はこちら→<https://www.jica.go.jp/event/>

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)イベント・セミナー情報

各詳細はこちら→<http://www.nedo.go.jp/search/?type=event>

公益財団法人 地球環境戦略研究機関(IGES)

各詳細はこちら→<https://www.iges.or.jp/jp/research/event.html>

「水素閣僚会議 2019」

- 主催：経済産業省／国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
- 日時：2019 年 9 月 25 日（水）
- 場所：ホテルニューオータニ（東京）
- 開催／参加申込／詳細：（サイトご参照）https://www.nedo.go.jp/events/HY_00014.html

「カーボンリサイクル産学官国際会議 2019」

- 主催：経済産業省／国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
- 日時：2019 年 9 月 25 日（水）
- 場所：ホテルニューオータニ（東京）
- 開催／参加申込／詳細：（サイトご参照）<https://carbon-recycling2019.go.jp/>

「LNG 産消会議 2019」

- 主催：経済産業省／アジア太平洋エネルギー研究センター（APEREC）
- 日時：2019 年 9 月 26 日（木）
- 場所：グランドプリンスホテル新高輪国際館パミール
- 開催／参加申込／詳細：（サイトご参照）<https://www.lng-conference.org/>

「資源・環境・エネルギー問題から見た製鉄技術の進歩と今後の展開」

- 主催：一般社団法人 日本鉄鋼協会
- 日時：2019 年 10 月 10 日（木）[東京]／2019 年 11 月 6 日（水）[大阪]
- 場所：東京：早稲田大学 西早稲田キャンパス／大阪：株式会社ラソソテ 3階会議室
- 開催／参加申込／詳細：（サイトご参照）
https://www.isij.or.jp/?action=common_download_main&upload_id=6134



国際セミナー／会議情報

POWER GEN ASIA (3-5 Sep 2019)

MITEC, Kuala Lumpur, Malaysia

<https://www.powergenasia.com/>

International Pittsburgh Coal Conference (3-6 Sep 2019)

Westin Convention Center Hotel, Pennsylvania, USA

<https://www.engineering.pitt.edu/pcc/>

Future of Mining EMEA 2019 (4-5 Sep 2019)

8 Northumberland Avenue, London, UK

<https://emea.future-of-mining.com/>

METPLANT Conference 2019 (9-10 Sep 2019)

Crown Perth, Great Eastern Hwy, Burswood WA 6100, AU

<http://metplant.ausimm.com/>

Coaltrans School of Coal Oxford (9-13 Sep 2019)

St Anne's College, Oxford, United Kingdom

<http://www.coaltrans.com/school-of-coal-oxford/details.html>

The Bluefield Coal Show (11-13 Sep 2019)

Brushfork Armory-Civic Center, Bluefield, West Virginia, USA

<http://www.bluefieldchamber.com/bluefield-coal-show>

CEM PROSPECTS CONFERENCE (7-9 Oct 2019)

Sheraton Grand Hotel, KRAKOW, POLAND

<https://www.cimeurope.eu/index.php/cem-prospects-top/cem-prospects>

2019 COAL Association of CANADA (8-10 Oct 2019)

Westin Bayshore, Vancouver, BC, Canada

<https://www.coal.ca/>

The World Coal Leaders Network (20-22 Oct 2019)

EPIC SANA Lisboa Hotel, Lisbon, Portugal

<http://www.coaltrans.com/world-coal-conference/details.html>

Futur of Mining Americas 2019 (21-22 Oct 2019)

Sheraton Denver Downtown Hotel, Denver, USA

<https://americas.future-of-mining.com/>

CHAINA COAL & MINING EXPO 2019 (30 Oct-2 Nov 2019)

New China International Exhibition Center, Beijing, China

<http://www.chinaminingcoal.com/web/>



IV International Trade Fair MINING & MINERALS EXPO 2019 (5-7 Nov 2019)

15 Brovarskyi Ave, UA-02002 Kyiv, Ukraine

<http://www.iec-expo.com.ua/en/mieen-2019.html>

MetCoke World Summit 2019 (5-7 Nov 2019)

Nashville, TN

<https://www.metcokemarkets.com/metcoke-summit>

POWER GEN Europe (12-14 Nov 2019)

Paris Expo Porte De Versailles, Paris, France

<https://www.powergeneurope.com/>

POWER GEN INTERNATIONAL (19-21 Nov 2019)

Ernest N. Morial Convention Center, New Orleans, LA, USA

<https://www.power-gen.com/index.html>

XIX International Coal Preparation Congress & EXPO 2019 (13-15 Nov 2019)

India Habitat Centre, New Delhi, India.

<http://www.giph.com.pl/files/Aktualno%C5%9Bci/Ulotka%20ICPC2019.pdf>

MINING GEOLOGY 2019 (25-26 Nov 2019)

Crown Perth, Great Eastern Hwy, Burswood WA 6100, AU

<http://mininggeology.ausimm.com/>

ICE Coal Market & Trading Programm (3-4 Dec 2019)

London, United Kingdom

<https://www.theice.com/EducationCourses.shtml?courseDetail=&courseId=6663>

TECH MINING RUSSIA (5-6 Dec 2019)

Marriott Courtyard Moscow Pavelerskaya Hotel

<http://techmining.ru/en/#!/program>



※編集後記※



編集長・岡本： いつもご購入いただき有難うございます。

かつて 70 年代世界のバイク乗りを彷彿とさせ、その後も長きに渡り語り継がれた伝説の映画「イージーライダー」のピーター・フォンダ氏がお亡くなりになりました。その数週間前には、私の永遠のアイドルであるオランダ人俳優ルトガー・ハウワー氏が亡くなっており、自分自身もうそのような歳になってしまったのかと思い知らされています。”ブレードランナー”、“ヒッチャー” は、当時 10 回以上は映画館に通ったものです。あ、申し遅れましたが当方小学生の頃から洋画ファンで、親に内緒で祖父から貰った 300 円を握りしめては近くの名画座に通い詰めておりました。2 本立てを 2 回続けて観たりしておりました。将来は映画評論家を目指しておりましたが、どういふご縁なのか石炭のお仕事をしております。それでは又！



編集・水澤： スイカ…スイカの季節が終わってしまう…。スイカと言えば、同じくウリ科のきゅうりは「世界一栄養素の無い野菜としてギネスで認定」と思われていますが、これは訳が間違いで「世界一カロリーの低いフルーツ」として掲載が正解のようです。ビタミンK、銅、モリブデンやカリウムなどの栄養素が豊富なのは今では良く知られているところだと思います。誰かが初めに言い出した“そうではない”情報が“常識”のようになってしまっている、例えばマリー・アントワネットは「(パンが無ければ) ケーキを食べればよいじゃない」と言った証拠はどこにもなく、「言ったに違いない」という固定観念だけで事実の如く現在もそう言う人も居ます。石炭がそれと似ている気がします。色んな人に石炭のことを知ってほしいと思うこの頃です。

JCOAL Magazine のご感想・ご意見をお聞かせ頂けると幸いです。

次号は クリーン・コール・デー国際会議などの活動の他、世界情勢 など様々なトピックでお送りします。

JCOAL の各 SNS アカウント

★Twitter <https://twitter.com/japancoalenerg1>

★Faceboock <https://www.facebook.com/japancoalenergycenter/?ref=bookmarks>

★Instagram <https://www.instagram.com/sekitanenergycenter/>

★フォローお待ちしております★

★JCOAL Magazine に関するお問い合わせ並びに情報提供・プレスリリース等は jcoal-magazine@jcoal.or.jp をお願いします。

★登録名、宛先変更や配信停止の場合も、jcoal-magazine@jcoal.or.jp 宛ご連絡いただきますようお願いいたします。

★JCOAL メールマガジンのバックナンバーは、JCOAL ホームページにてご覧頂けます。

<http://www.jcoal.or.jp/publication/magazine/>

